

ボランティア活動の受け入れに対する基本姿勢

- 1 受け入れ体制の整備を図り、より積極的にボランティアを受け入れていく。
- 2 ボランティア活動についての職員研修を実施する。
- 3 労働奉仕等についても受け入れ、地域の人とのコミュニケーションを活発化させる。
- 4 地域活動の一環としてボランティアを受け入れ、地域活動の場として提供する。
- 5 年末年始のボランティアを受け入れるだけでなく、名張養護学園自らが積極的なボランティア活動を実施する。
- 6 ボランティア活動の受け入れについては、登録手続きや事前説明等に関するマニュアルを別途定める。
- 7 登録ボランティア及び年末年始等のボランティア区分は無いものの、毎月の活動と年度活動等の登録区分を設ける。
- 8 名張養護学園内でボランティア活動を実施する場合は、事前に「施設ボランティア活動申込書(別紙様式)」により登録の上、実施後は「ボランティア活動記録(別紙様式)」に活動内容等を記載のうえ施設長に報告する。
- 9 ボランティア活動記録の提出を受けた施設長は、内容を把握し、日常の業務に活かすこととする。